

スイングの撮影方法

- 練習場などで実際にボールを打っているスイングを撮影してください。
- カメラはなるべく固定した状態で撮影してください。後方からスイングを1回撮影し、可能であれば前方からも1回撮影します。隣の打席が空いていない等の理由で前方にカメラを置けない場合は後方からのみでも構いません。
- 使用するクラブは見てもらいたいクラブを振ってください。また、申し込みフォームには必ず何番を使用したかを記載するようにお願いします。
- 各動画の長さは 10秒以内で作成してください。

① 後方からの撮影方法



良い例

テークバック、トップ、フォロースルーまでクラブヘッドが画面に収まるようにカメラの位置を調節してください。



悪い例

トップの位置でクラブヘッドが映っていなかったり、テークバックやフォロースルーでクラブヘッドが画面からはみ出てしまうのはNG。また、カメラが遠すぎてもスイングがわかりづらいのでNGです。

全体が画面いっぱいになるようにカメラの位置を調節してください。

② 前方からの撮影方法



良い例

前方からでも同じく、テークバック、トップ、フォロースルーまでクラブヘッドが画面に収まるようにカメラの位置を調節してください。



悪い例

トップの位置でクラブヘッドが映っていなかったり、テークバックやフォロースルーでクラブヘッドが画面からはみ出てしまうのはNG。また、カメラが遠すぎてもスイングがわかりづらいのでNGです。全体が画面いっぱいになるようにカメラの位置を調節してください。